

第7回イスラム金融サービス委員会(IFSB)年次総会及び第6回IFSBサミットについて

日証協・平成 21 年 3 月 31 日、5 月 5 ～ 8 日

本協会は、中東・アジア地域を中心に急拡大しつつあるイスラム金融の実情を把握するため、平成 19 年 8 月から、イスラム金融の世界的なルールの標準化を目指すイスラム金融サービス委員会(IFSB: Islamic Financial Services Board)にオブザーバー・メンバーとして参加している。

同委員会は去る 3 月 31 日に、サウジアラビアの首都リヤドにて第 7 回年次総会を開催し、また 5 月 5 日から 8 日までの 4 日間、シンガポールにて、中東・マレーシアをはじめとするイスラム金融先進国の中央銀行総裁クラスをはじめとする著名スピーカーを多数集めたサミットを開催した。

3 月にリヤドのサウジアラビア通貨庁で開催された総会では、前年度の活動報告及び財務報告の承認、来年度の議長国(新議長にスーダン中央銀行総裁)の選出などを決議し、閉幕した。本協会からも職員を派遣し、IFSB 首脳陣やイスラム金融先進国関係者との懇親を深めた。

また、5 月にシンガポールで 4 日間にわたり開催された IFSB サミットは、「イスラム金融サービスの将来」というテーマの下、6 か国の中央銀行総裁、イスラム開発銀行総裁や各国金融規制当局、イスラム金融の主要市場プレーヤーなど総勢 26 名の著名スピーカーを迎えて開催された。

今年のサミットはアジア地域として、また、非ムスリム国で初めてシンガポールで開催された。今回は国際金融危機の後遺症の残る時期での開催であり、参加者からは、イスラム金融の相対的な強靱性を評価する発言が目立った。

なお、今回のサミットでは、日本からのスピーカー参加はなかったが、会場には日本の銀行、証券、保険やその関連機関などからの参加が目立ち、日本のイスラム金融への関心の高まりは依然として続いていることが見て取れた。



サミットの会場の様子(シンガポールにて)